

※イラストはBB-SC384Bです。



- 本書では、本機の、各ケーブルの接続、設置、設定の一部について記載されています。
- 本書をお読みいただく前に、「取扱説明書 基本編」を必ずお読みください。

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019



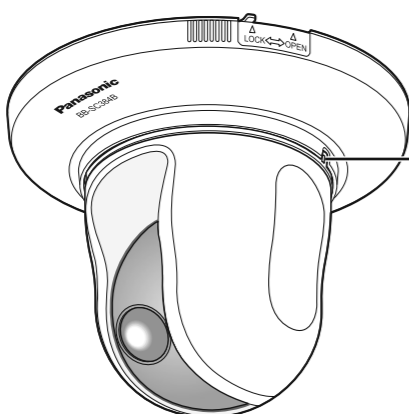
各部の名前

※印の付いた端子については右に詳細仕様を説明しています。

Panasonicプレート
SDメモリーカードカバー

Panasonic
BB-SC384B

ドームの透明部



SDメモリーカード*1スロット

※1SDHC / SDメモリーカードをSDメモリーカードと表記しています。

アクセラランプ*2

リンクランプ*3

ネットワーク端子* RJ45

DC12V電源ケーブル接続端子*

オーディオ出力端子*

マイク/ライン入力端子*

外部I/O端子*

※2 アクセラランプ：ネットワークにアクセスしているときに緑点滅

※3 リンクランプ：他の接続機器と通信可能ときに橙点滅

はじめに

本書では本機の接続から設置までを説明しています。カメラの操作や詳しい機能および設定のしかたについては、付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

Step1. 必要なものを準備する …… 付属品をご確認ください

付属品以外に必要なものは以下の通りです。
●カメラ取付金具（付属品）を取り付ける取付ねじ4本（M4またはM6 引抜強度294 N（30 kgf）/1本あたり）
※取付場所の材質に合わせてご用意ください。ただし、木ねじおよびくぎは使用しないでください。コンクリート天井の場合は、アンカーボルト（M6用）またはパナソニック株式会社製のAYプラグボルト（M4またはM6用）で固定してください。

Step2. カメラを接続する …… 各部の名前 | 接続のしかた

Step3. カメラを設定する …… カメラを設定する（裏面）

インターネット経由や携帯電話や携帯端末でカメラ画像が見られるようにする場合は、付属の「インターネット経由や携帯電話や携帯端末でカメラ画像が見られるように設定する」（チラシ）を参照してカメラの設定を行ってください。

Step4. カメラを設置する …… カメラを設置する（裏面）

付属品をご確認ください

取扱説明書 基本編 …… 1冊 CD-ROM *1 …… 1枚
取扱説明書 設置編（本書） …… 1冊 コードラベル *2 …… 1枚
保証書 …… 1式

※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。

以下の付属品は取付工事に使用します。
A カメラ取付金具 …… 1個 C カメラ固定ねじ …… 2本
（落下防止ワイヤー付き）
B 飾りカバー …… 1個 D 電源用端子台 *3 …… 1個

※3 電源用端子台はカメラ本体に付いた状態で付属されています。

状態表示ランプ(STATUS)

ランプの種類と動作状態	ランプの表示変化
状態表示ランプ	
●電源投入時	橙点灯 → 消灯 → 橙点灯 → 橙点滅
●ネットワークカメラが正常に立ち上がり、他の接続機器と通信可能になったとき	緑点滅 → 緑点灯
●「IP 簡単設定ソフトウェア」で、カメラの設定が完了していないか、もしくは DHCP サーバーから IP アドレスが取得できないとき	橙点灯
●Ethernetケーブルが正しく接続できていないか、もしくはカメラが接続されているハブまたはルーターが正しく動作していないとき	橙点滅 (2秒間隔)
●ルーターの UPnP™機能が無効になっているとき	赤点滅
●カメラが故障しているとき	赤点灯
●SDHC / SDメモリーカードに書き込みできない	橙点滅 → 消灯
●初期化動作中	

INITIAL SETボタン(初期化ボタン)

●初期化するには
本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。
①本機の電源を切ります。PoE対応ハブを使ってご使用の場合は、Ethernetケーブルを本機より引き抜いてください。外部電源をご使用の場合は、本機の電源ケーブルの端子の接続を外してください。
②INITIAL SETボタンを押しながら本機の電源を入れて、そのままINITIAL SETボタンを10秒以上押し続けてください。INITIAL SETボタンを離してから約3分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。

重要
●本機を初期化すると、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。ただし、HTTPSで使用するCRT鍵（SSL暗号化キー）は初期化されません。
●必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。
●初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

MONITOR OUT 端子(映像出力端子)

サービス時に必要に応じてアナログモニターを接続して映像を確認します。

メモ

- アナログモニターは、サービス時に映像を確認することを目的にしたものです。録画および監視を目的にしたものではありません。
- 使用するアナログモニターによっては、画面上に表示される文字（カメラIDなど）が欠けて見える場合があります。

接続のしかた

接続する前に、必要な周辺機器やケーブルを準備して、システム（機器）の電源は切ってください。

マイク/ライン入力端子とマイクを接続する

- φ3.5 mmのモノラルミニプラグを接続する。
- 入力インピーダンス：約2 kΩ 不平衡
- 推奨ケーブル長：1 m未満（マイク入力の場合）、10 m未満（ライン入力の場合）
- 推奨マイク：プラグインパワー方式（別売り） ●供給電圧：2.5 V±0.5 V
- 推奨マイク入力感度：-48 dB±3 dB (0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)
- ライン入力時入力レベル：約-10 dBV

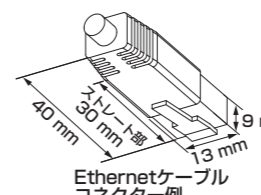
メモ

- コードの長さや、マイクの特性によって音質が落ちることがあります。

Ethernetケーブル（カテゴリ5e以上）を接続する

メモ

- Ethernetケーブルは右図のコネクターサイズ以下のものを使用してください。
- PCとカメラを直接接続する場合はEthernetケーブル（カテゴリ5e、クロス）を使用してください。それ以外の場合はEthernetケーブル（カテゴリ5e、ストレート）を使用してください。



重要

- Ethernetケーブルは4対（8ピンすべて）を使用してください。
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでです。
- PoE給電装置をご使用の場合は、必ずEEE802.3af準拠品を使用してください。
- PoE給電装置とDC12 V電源の両方を接続した場合は、DC12 V電源が優先されます。
※ DC12 V と給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた場合、ネットワーク接続ができない場合があります。このときは、給電装置の給電の設定を無効にしてください。詳しくは給電機能付きハブもしくはルーターの取扱説明書をお読みください。
※ DC12 V と給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた状態からDC12 V を切断した場合、給電装置の種類によっては、給電が一度切断され、本機が再起動する場合があります。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。

電源ケーブルを接続する

①電源用端子台（付属品）にACアダプター（WV-PS16(別売り)あるいは市販品）の出力ケーブルを接続します。

①電源用端子台のねじをゆるめ、ケーブルの外皮を3 mm～7 mmむき、芯線を露出させるよう加工し、より線の場合はよくよじって、電源用端子台へ挿入してください。（WV-PS16(別売り)をお使いのときは、ケーブル先半田付け部分を除去してください。）

②電源用端子台のねじを締めます。（推奨締付トルク：0.34 N・m {3.5 kgf・cm}）

メモ

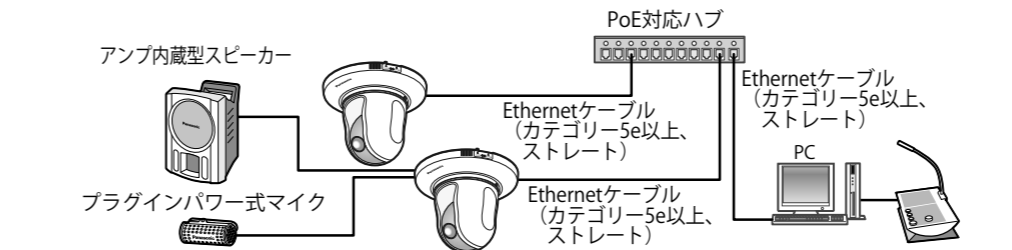
- 外皮を切断した芯線を電源用端子台の奥に突き当たるまで差し込み、線材の芯線がはみ出して、隣の端子とショートしていないことを確認してください。
- 外部電源を接続する場合はAWG 16～AWG 24単線もしくはより線をご使用ください。

重要

- DC12 V電源はAC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。
- ①電源用端子台（付属品）は、必ず付属品を使用してください。
- ②電源用端子台（付属品）は、DC12 V電源ケーブル接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルに無理な力が加わらないように設置してください。
- 本機の電源および消費電力の定格（本体底面銘板に表記）を満たすACアダプターを使用してください。

PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例

設置工事を始める前に、システム全体の構成を確認してください。下図は、PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例です。



重要

- ハブ、ルーターは10BASE-T / 100BASE-TX 対応のスイッチングハブまたはルーターを使用してください。
- PoE 対応ハブを使用しない場合は、各ネットワークカメラにDC12 V 電源が必要です。
- DC12 V 電源を使用するときは、PoE 対応のハブ、ルーターからの電源供給は不要となります。

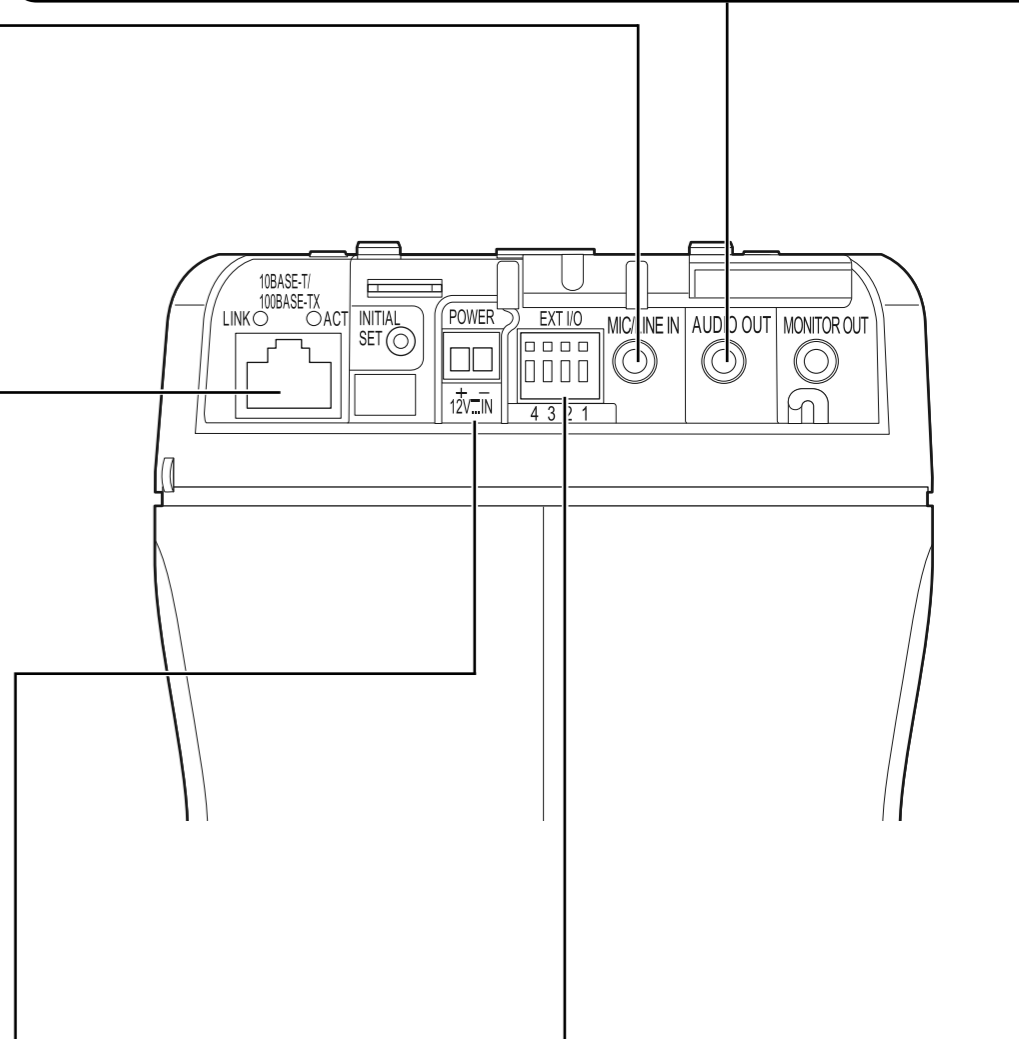
オーディオ出力端子とアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する

φ3.5 mmのステレオミニプラグ（出力はモノラル）を接続します。

- 出力インピーダンス：約600 Ω 不平衡
- 推奨ケーブル長：10 m未満
- 出力レベル：-20 dBV

重要

- 音声ケーブルの抜き差しや、カメラの電源をONにするときは、オーディオ出力機器の電源を切った状態で行ってください。スピーカーから大きなノイズが出ることがあります。
- 本機には必ずステレオミニプラグを使用してください。モノラルミニプラグを使用すると音が出なくなる場合があります。モノラルアンプ内蔵スピーカーと接続する場合は、市販のステレオモノラル変換ケーブルなどを使用してください。



アラーム入出力ケーブルを接続する

外部I/O端子に外部機器ケーブルを接続します。
①ケーブルの外皮を8 mm～9 mmむき、ショートがないように、より線の場合は芯線をよくよじってください。

線材仕様：AWG 20～AWG 26単線もしくはより線。

②ボールペンの先などで接続したい外部I/O端子のボタンを押し、ケーブルを穴の奥まで確実に差し込んでボタンを離します。

メモ

- 外皮を切断した芯線を外部I/O端子の奥に突き当たるまで差し込み、芯線がはみ出して、隣の端子とショートしていないことを確認してください。
- 外部I/O端子のボタンを先の尖ったもので、強く押さないでください。外部I/O端子のボタンの溝がつぶれて、戻らなくなることがあります。
- 外部I/O端子2と外部I/O端子3は、Off / 入力端子 / 出力端子に切り替えることができます。外部I/O端子2、3の設定（Off / アラーム入力 / アラーム出力またはAUX 出力（外部出力））については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

定格

- アラーム入力端子1、アラーム入力端子2、アラーム入力端子3
入力仕様：無電圧メイク接点入力（DC4 V～5 Vプルアップ内蔵）
Off：オープンまたはDC4 V～5 V
On：GNDとのメイク接点（必要ドライブ電流1 mA以上）
- アラーム出力端子、AUX 出力端子
出力仕様：オープンコレクタ出力（外部からの最大印加電圧DC20 V）
Open：内部プルアップによるDC4 V～5 V
Close：出力電圧DC1 V以下（最大ドライブ電流50 mA）

※お買い上げ時は、外部I/O端子は「OFF」に設定されています。外部I/O端子の設定については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

外部I/O端子	ピン	機能
外部I/O端子のボタン 4 3 2 1	1	アラーム入力端子1
	2	アラーム入力端子2 / アラーム出力端子
	3	アラーム入力端子3 / AUX 出力端子
	4	GND

重要

- 外部機器は定格を超えないように設置してください。
- 外部I/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。
- 1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する必要がある場合は、本機外部で線を分岐させて接続してください。

カメラを設定する

カメラ画像をPCで見られるように設定する

PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。ネットワークの設定を行うための情報は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

[1] 付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットする

- 使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します。」を選択し、[OK]をクリックします。
- CDランチャーメニューが表示されます。CDランチャーメニューが表示されないときは、付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。



メモ

- CDランチャーの詳細については、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編：「CD-ROMを使用する」を参照してください。

[2] IP簡単設定ソフトウェアの[起動]をクリックする。

[Panasonic IP 簡単設定ソフトウェア] 画面が表示され、カメラが見つかったとカメラのMACアドレスやIP アドレスなどの情報を表示します。

[3] 設定するカメラをクリック (①) して、[カメラ画面を開く] をクリック (②) する。

メモ
[Panasonic IP 簡単設定ソフトウェア] 画面にカメラが表示された場合は、設定したいカメラに貼られているラベルに記載のMACアドレスと同じカメラをクリックしてください。



[4] 管理者登録画面が表示されたら、管理者のユーザー名、パスワード、パスワード確認を入力し、[登録] ボタンをクリックする。認証画面が表示されたらユーザー名、パスワードを入力する。

カメラのライブ画面が表示されます。

メモ

- 動画を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」をインストールする必要があります。「プラグインソフトウェア」ボタンをクリックしてインストールしてください。
- カメラを使用する前に、「設定」の[基本]画面で[日付時刻]の設定を行ってください。
- IP 簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象カメラの「ネットワーク設定」を変更することができなくなります (IP簡単設定の有効期間の設定が「20分間」の場合)。ただし、初期状態のカメラは約20分経過後も変更することができます。
- 画像が表示されない場合は、ウェブブラウザを互換表示に設定してください。設定方法については、以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照ください。<https://sol.panasonic.biz/security/netwccam/support/info.html>

カメラを設置する

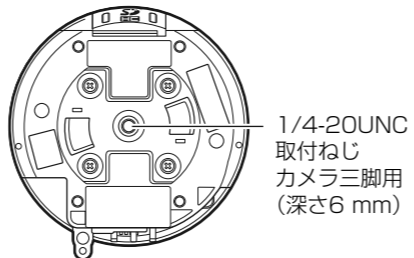
設置の前に

カメラを設置する前に、以下の内容について確認してください。

- 石こうボードなど強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施すか、別売りのカメラ天井直付金具WV-Q105A、または、カメラ天井埋込金具WV-Q155Sを使用してください。
- 壁に取り付ける場合は、別売りのカメラ壁取付金具 WV-Q154Sを使用してください。
- 天井取り付け専用の屋外ハウジング(別途調達)と組み合わせて使用する場合は、インナーカバーWV-Q157を使用してください。カメラ本体の反射による写りこみを改善できます。
- 別売りの取付金具やインナーカバー(WV-Q154S/WV-Q155S/WV-Q156Sにも付属)を使用する場合は、使用する取付金具の取扱説明書をお読みください。
- 万が一、本機のカメラ取付金具(付属品)から外れた場合でも、本機が周囲の人に当たらないように落下防止ワイヤーを取り付けてください。

重要

- 天井に取り付ける場合は、専用のカメラ取付金具(付属品)を使用して下さい。
- 落下防止策を施すことができないため、カメラ三脚用のねじ穴を使っての天井設置はしないでください。
- カメラ三脚用のねじ穴はカメラ三脚を使って設置する場合のみ使用してください。



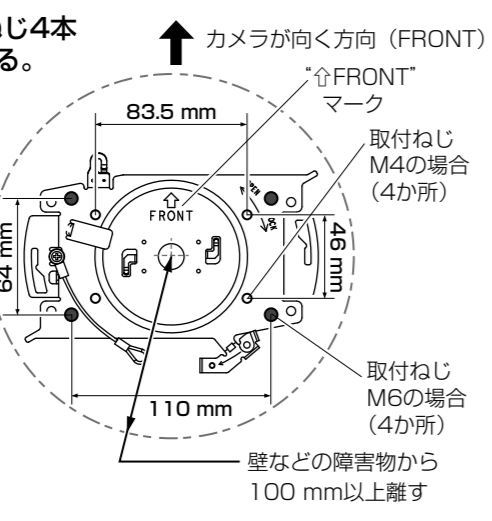
- DC12V電源を使用するときは、DC12V電源ケーブルの接続に使用するため、電源用端子台(付属品)を取り外してください。

設置する

ケーブル類(電源ケーブルのコード、イーサネットケーブルなど)の取り回しかたには、天井にケーブル用の穴をあけて配線する方法<天井配線>と、天井に穴をあけずに配線する方法<側面配線>があります。どちらかの方法で配線してください。

[1] ④カメラ取付金具(付属品)を取付ねじ4本(M4またはM6:別途調達)で取り付ける。

- 選択するねじの径と取付ピッチは以下のようになります。
- M4ねじ4本で固定する場合
83.5mm x 46mm
 - M6ねじ4本で固定する場合
110mm x 64mm



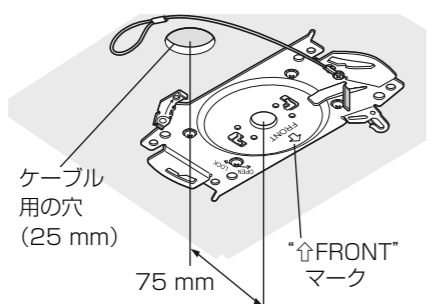
メモ

- 壁などの障害物が、カメラ取付金具の中心部より100mm以上離れたところに取り付けてください。
- カメラ取付金具の“↑FRONT”マークが設置完了後のPanasonicロゴ方向となります。

<側面配線> <天井配線>

[2] 本機に接続するケーブル用の穴を天井にあける。

カメラ取付金具の“↑FRONT”マークとは反対方向に、カメラ取付金具の中心部から穴の中心部まで約75mm離れたところに、φ25mmの穴をあけてください。



[3] カメラ取付金具に固定されている落下防止ワイヤーをカメラに取り付ける。

取り付けたあとは、落下防止ワイヤーの先端リングが確実にカメラ本体の落下防止ワイヤーフックに掛かっていることを確認してください。

メモ

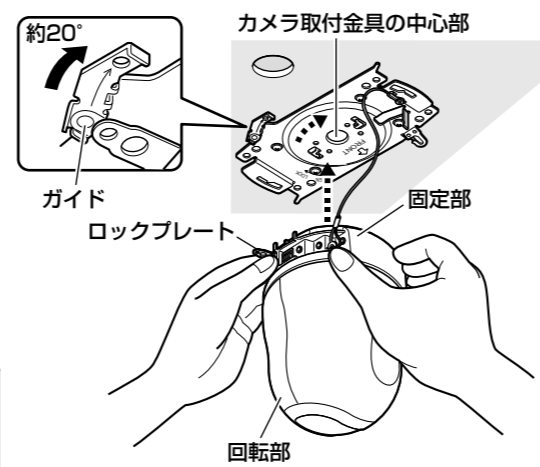
- SDメモリーカードを使用する場合は、落下防止ワイヤーを落下防止ワイヤーフックへ掛ける前に「SDメモリーカードを交換する」を参照して取り付けください。



[4] 「接続のしかた」を参照し、必要なケーブル類を外部I/O端子、マイク入力端子、オーディオ出力端子に接続する。

[5] カメラ取付金具に本機を取り付ける。

ロックプレートを覆っている保護チューブ(輸送保護用)を外してから、カメラ取付金具(付属品)に本機を取り付けます。カメラ取付金具のガイドにロックプレートを合わせ、金具の中心部にカメラ三脚取付ねじの中心部を合わせて本機を差し込み、カメラ取付金具に本機を押し付けながら時計回りに回します。



重要

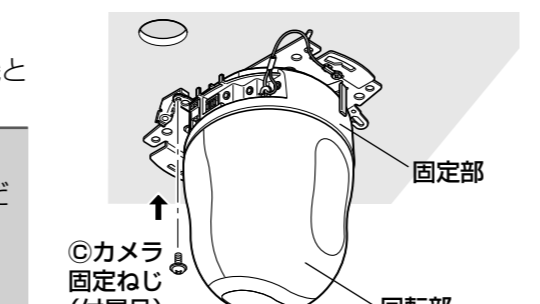
- 必ずカメラ本体の固定部を持って取り付けてください。回転部を持ちながら取り付けると、故障の原因になります。

[6] 本機とカメラ取付金具を固定する。

④カメラ固定ねじ1本(付属品)で本機とカメラ取付金具を固定します。

重要

- カメラ固定ねじは確実に締めてください。落下事故の原因になります。推奨締付トルク: 0.68 N・m [7 kgf・cm]



[7] 「接続のしかた」を参照し、Ethernetケーブル、DC12V電源ケーブルをカメラに接続する。

重要

- Ethernetケーブル(PoE電源供給時)またはDC12V電源ケーブルを接続すると、本機が回転し、自動的にポジションが初期化されます。ポジションの初期化中は本機に触らないでください。正しく初期化されない場合や、故障の原因になる場合があります。
- 初期化終了後に誤って手でカメラの向きを変えてしまった場合は、プリセットポジションなどがずれる可能性があります。その場合は、ポジションリフレッシュを行うか、本機を再起動してください。詳しくは、付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

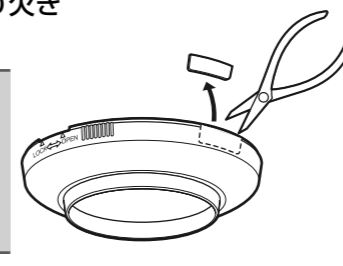
設置する(つづき)

<天井配線> <側面配線>

[8] ⑧飾りカバー(付属品)後側の切り欠き部分を取り外す。

重要

- ケガ防止およびケーブル保護のため、側面ケーブル通し穴はエッジにならないようにヤスリなどで仕上げてください。

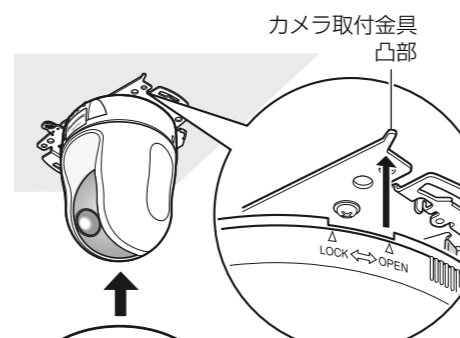


[9] 飾りカバーを取り付ける。

①④カメラ取付金具(付属品)の凸部を飾りカバーの「OPEN」に合わせて、飾りカバーを取り付けます。

メモ

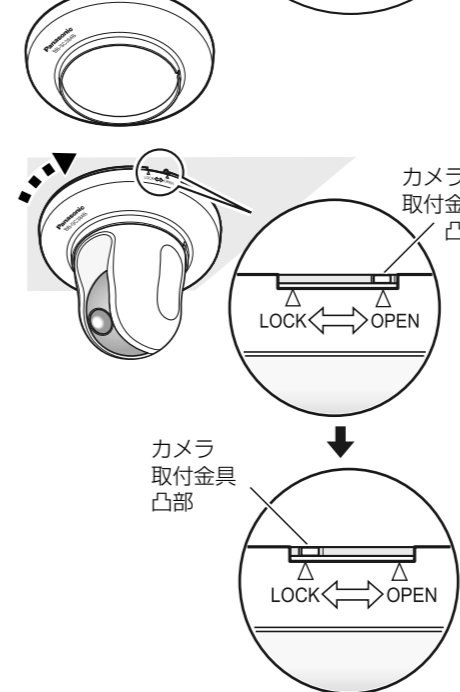
- <側面配線>の場合は飾りカバーの切り欠き部分から配線が出るようにしてください。



②飾りカバーの「LOCK」マーク部分にカメラ取付金具の凸部がくるまで、飾りカバーを時計回りに回してはめ込みます。

重要

- ⑧飾りカバー(付属品)を取り付けるときに、ケーブル類はさみこまないように注意してください。

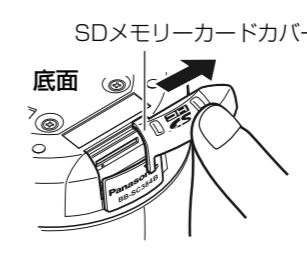


SDメモリーカードを交換する

[1] 本機前面のPanasonicプレートの右側の隅(右図参照)を押し、ロックを外す。



[2] SDメモリーカードカバーを矢印の方向にスライドさせ、カバーをあける。



[3] SDメモリーカードスロットからSDメモリーカードを取り出す。

- ①設定メニューの[録画]タブで「録画」を「使用しない」に設定します。設定の詳細については、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編を参照してください。
- ②SDメモリーカードを音がるまで押し、SDメモリーカードスロットから取り出します。

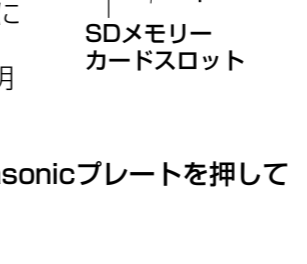


[4] 交換用のSDメモリーカードを取り付ける。

- ①SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで入れて取り付けます。
 - SDメモリーカードは、ラベル面をカメラの底面側に挿してください。
- ②設定メニューの[録画]タブの「録画」を元の設定に戻します。設定の詳細については、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編を参照してください。



[5] SDメモリーカードカバーをしっかりと閉め、Panasonicプレートを押ししてロックする。



カメラを取り外す

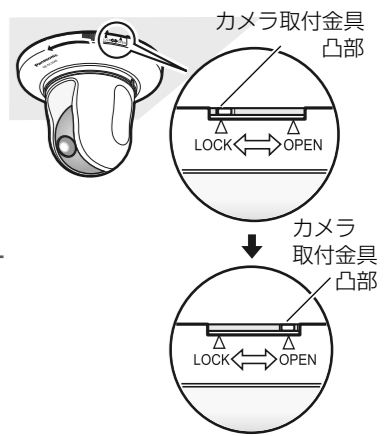
本機は、カメラ本体と④カメラ取付金具(付属品)をねじで固定しています。カメラ本体を取り外す場合は、以下の手順で行ってください。

重要

- 本機および⑧飾りカバー(付属品)を取り外す場合は、必ず以下の手順を守りください。破損の原因になります。

[1] 飾りカバーを取り外す。

カメラ取付金具の凸部が、飾りカバーの「OPEN」にくるまで、飾りカバーを反時計回りに回し、飾りカバーを外します。



[2] 本機の電源を切る。

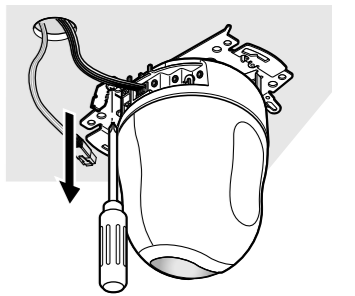
⑩電源用端子台(付属品)またはEthernetケーブル(PoE使用時)を抜き、本機の電源を切ります。

メモ

- SDメモリーカードを使用している場合は、電源を切る前に設定メニューの[録画]タブで「録画」を「使用しない」に設定してください。設定の詳細については、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編を参照してください。

[3] ④カメラ固定ねじ(付属品)を外す。

カメラ本体とカメラ取付金具を固定しているカメラ固定ねじを外します。カメラ固定ねじを紛失しないように注意してください。

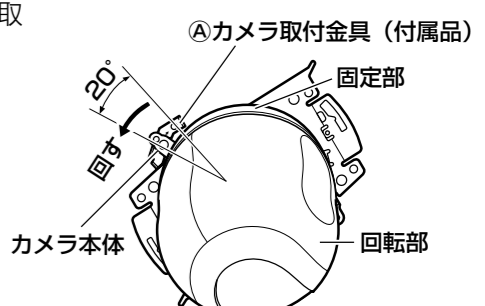


[4] カメラ本体を取り外す。

カメラ本体を反時計回りに回して、カメラ取付金具から取り外します。

重要

- 必ずカメラ本体の固定部を持って取り外してください。回転部を持ちながら取り外すと、故障の原因になります。



[5] ケーブル類をカメラ本体から取り外す。

[6] 落下防止ワイヤーをカメラ本体から取り外す。

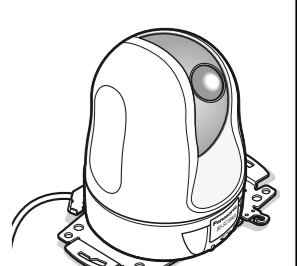
据え置きで固定して使用する

据え置きで使用する場合は、転倒防止とプリセットポジションのずれ防止のため、④カメラ取付金具(付属品)を取付ねじ4本(別途調達)で固定してから、カメラ本体をカメラ取付金具に取り付けて使用してください。⑧飾りカバー(付属品)は必要に応じて取り付けてください。取り付けかたは、「設置する」をお読みください。

- 据え置きで使用する場合は、設定メニューの[カメラ動作]タブで「卓上設置」を「On」にしてください。設定の詳細については、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編を参照してください。

重要

- カメラ取付金具を取り付ける取付ねじ4本(M4またはM6)は、取り付け場所の材質にあわせて用意してください。

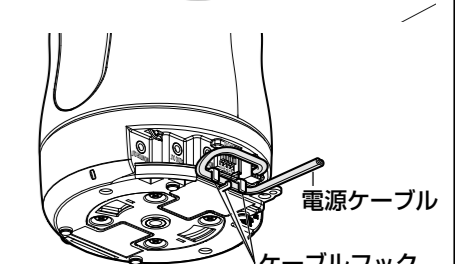
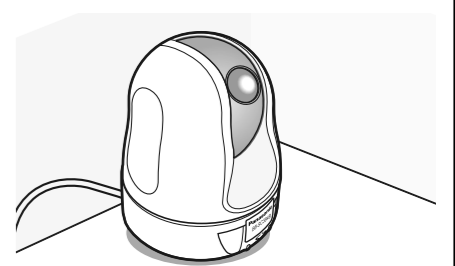


卓上で簡易的に使用する

会議用途など、卓上機器として簡易的に使用することができます。水平で振動が少ない場所で、本機が転倒しないように注意して使用してください。「接続のしかた」を参照し、必要なケーブル類をカメラに接続してください。

重要

- カメラを固定せずに簡易的にご使用の場合は、接続するケーブルに引っ張られてカメラが傾いたり、倒れたりすることがありますのでご注意ください。
- 電源ケーブルはケーブルフックに通してください。



- 卓上で使用する場合は、設定メニューの[カメラ動作]タブで「卓上設置」を「On」にしてください。設定の詳細については、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編を参照してください。